

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 国産材で環境にやさしい快適な2x4の家

グループの名称 快適2x4家造りの会

直近採択グループ番号 06-0706-0505

(グループ代表者)

代表者名	高橋 文夫	代表者印
代表者所属先	株式会社シガウッド	
代表者所在地	滋賀県長浜市大辰巳町151番地	
代表者電話番号	0749-62-1517	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社シガウッド	
事務局担当者名	中村 修三	印
事務局郵便番号	526-0834	
事務局所在地	滋賀県長浜市大辰巳町151番地	
事務局電話番号	0749-62-1517	
事務局FAX	0749-63-8817	
事務局担当者E-mail	nakamura@shigawood.com	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		11	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸					
		上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積		1	棟				
				500	m ²				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟				
				0	m ²				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	各社補助要件を満たした住宅を基本とした受注活動を行うこととしており、グループ配分戸数確定後、契約進捗を勘案し事務局にて配分先を選定する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	8	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 国産材で環境にやさしい快適な2x4の家	(地域型住宅供給対象地域) 中部地方、近畿地方
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 快適2x4家造りの会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0706-0505	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	四季が与える室内環境への影響を住宅性能により緩和し、湿度等の影響による躯体性能の低下には長期優良住宅がもつ性能を設計・施工両面から担保するとともに、高耐久な国産材(スギ・ヒノキ)を最大限活用することにより、その劣化に対抗する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	長期優良住宅等各性能に対する理解を深め、適切な施工を確立する。また、材料供給面においては、四季の影響を加味し、場施工からパネル施工、建て方への対応など多角的な供給体制を提供し年間を通じた安心のできる建設体制を構築する。	現 ◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	情報が広く得られる現在においては、時に特異なデザインを用いられることがあるが、近隣地域を意識した設計を心掛け、要者(建築主)とともに、景観に配慮したデザイン計画を行う。	需 ◎
④①～③の背景	会発足3年目を迎え着実に成果をあげつつあるが、本年に関しても確立してゆく意図を持って過去2か年と同様の目標設定とする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	枠組壁工法(以降、2x4工法)において、近年国産材の普及が徐々に進んでいるが、中部地方における国産材、近隣県の認証材の牽引役として本会を立ち上げ、実績を積んできた。今後も普及に向け先導的な役割を果たせるよう、引き続き広報活動を検討する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 2x4工法においては材料の規格化が確立されておりこの利点を最大限に活用するとともに、国産製材業者へ今後望まれる製材規格寸法に対する要望を伝えていく。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 性能表示型住宅の品質・性能を担保し得る材料の選定・統一にあたり、コスト優位性に配慮し検討を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 2x4工法の特性を活かし、供給エリア毎の標準仕様の検討を行うとともに、地域型住宅としての提案優位性を確立すべく仕様の設定を検討する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 構成員である建材流通業者の購買力を活用し、随時市場価格の確認のもと住宅供給業者へ最適な提案を行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 当会流通事業者の連携をもつて住宅供給者の調達事務合理化に努める。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ代表会社を中心に現場施工状況に関する情報を集約し、事務局含め検討を行い、各住宅生産者へ情報提供を行う。また、これからの大工減少を想定しプレカットのみならずパネルでの供給により施行の合理化提案も合わせて行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 情報の集約管理及びその配信。パネル工場による工法の研修などにより、2x4工法が持つ合理性を最大限に活用する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 規格化工法との表現が可能な2x4工法の特長を活かし、かつ各業界団体との連携を深め、業界団体形成の施行管理基準に準拠した施行基準の整備に向け検討を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各中間工程検査を前提とした厳格な検査実施を図るとともに、施工現場情報の履歴整備に向け検討を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造図作成後に見積もりを行うことを前提とし、正確かつ信頼できる見積もりを契約者へ提出する。また見積もり提出から質疑応答の流れを説明した上で、見積もり提出を行うことにより信頼性の向上を図る。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地域型住宅のグループ構成を活用し、供給体制の見える化により信頼性の向上を図る。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員相互の取り組みを把握し、情報共有するとともにグループとして導入を促していく。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能や経験を活かして活躍できる環境づくりに向け、構成員相互の取り組みを把握し、情報共有を行う。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員の保険加入確認するなどグループ内での啓蒙を行う。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 墜転落防止の安全ネット張りの提案や、保護具の使用着用などの徹底、現場入退場監理、健康診断の受診確認などグループ内での情報共有・啓蒙を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	他のグループ事務局との情報交流を実施し、現体制の検証、基盤整備の強化を実施	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 国産材で環境にやさしい快適な2x4の家	(地域型住宅供給対象地域) 中部地方、近畿地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適2x4家造りの会	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0706-0505	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報のメンテナンステキニク	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局において、施工情報集積を行い、リフォーム時に支援を実施する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局を通じて情報サービスの活用を推進している。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: デジタルデータにて集積し、事務局サーバ管理	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 維持管理計画にもとづき、点検を実施。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 維持管理計画にもとづき、適切な補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局においてリフォーム支援実施時に情報蓄積を行う。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完成建物を活用し、住まい管理に関する見学会の開催を検討する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ事務局が主催し、DIY体験会を実施する	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅居住者に有効と思われる、業界団体主催事業を案内しこれにあてる。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ代表会社を中心に設計者、施工者より、意見交換を計画し、構成員に情報提供を行う。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅取得者へ維持管理計画書の案内を行い、当事者としての意識取得を促す。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 倒産、廃業等発生の際は、早期に検討会を立ち上げ、建築主に対応策の提案を行う	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各社の集積情報を活用し、情報の共有に努める。	○	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	中小住宅生産者とハウスメーカーとの比較において、情報集積に大きな差が生じる。本事業におけるグループ連携を活用し、構成員相互の情報共有を促し、グループとしての意義を確立する。	○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完成見学会への構成員相互参加を会として案内し、技術情報共有をはかる。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 枠組壁工法の厳格な告示仕様の確認を行い、品質の管理を行う。	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 当面、各社の報告を持って確認を行う。
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各住宅供給者の安定受注に向け、信頼における住宅供給システムを構築し提供する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 設計連携の構築を図るなど、ブランド化に向け総合的住宅供給システムの構築を図る。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各業種間で共通言語(情報連携様式等)を整備し、合法的な業種間関係を構築する。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 5
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 5	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各都県での開催スケジュールを事務局にて確認し、各構成員へ情報提供を行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内、各専門分野ごとに関連業界団体と連携を深め、滞滞のない情報収集を行う。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 業界団体へ要望を提出し、各種開発事業を実施を促す。H30年度開発試験実施予定	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事業上配分頂いた棟数を特定構成員に偏ることなく配分し、各社の実務機会の創出を図る。平成29年度においても、上記について堅実に事業実施が図られた。本年度は、技術の定着、更なる普及に向けて、事業枠拡大を期待するとともに、構成員の技術力向上に向け、首都圏業界団体へ構成員を派遣し各種講習会への参加等を行い取り組みを強化していく。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 国産材で環境にやさしい快適な2x4の家	(地域型住宅供給対象地域) 中部地方、近畿地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適2x4家造りの会	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0706-0505	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<p>枠組壁工法におけるスギ、ヒノキについては、基準強度の改正を終え、改正基準に対し適切な設計を行う必要がある為、設計事務所、施工者、製材メーカーが連携し適切な運用を実施する。 スギスタッド、ヒノキ土台を中心に全量地域材での運用をはかる。</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上</p>
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p>
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>②については、主要構造材の地域材割合を示す。</p> <p>※地域材として使用が予定される北米産SPF材については、国外の大手製材会社からの供給となるため、グループ構成員に含めることは難しく、下記事業者には含まれていません。製材会社の森林認証の取得を確認した上で、木材輸入業者(構成員)が合法性証明を発行。パネル工場(構成員)からの施工業者への合法性証明により、地域材であることの証明とします。</p>
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国産材については、国産材製材協会より定期情報取得し、外国産材については四半期ごとに情報収集し実勢把握に努める。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国産材については、国産材製材協会より定期情報取得し、外国産材については四半期ごとに情報収集し実勢価格把握に努める。
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 現在の市場を取り巻く状況から本グループは国内産地域材の使用は増加が見込まれていますが、製材メーカーとの連携で適正な需給バランスの構築をはかる。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 20枚 注文者の意向が優先されるが、可能な限り提案を行う。
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 坪 固定荷重の増加のため、優先した提案は難しいが、地域の景観に配慮し都度検討する。
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚 戸襖含めトータルコーディネートの中で適宜検討を行う。
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚 トータルコーディネートの中で適宜検討を行う。
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 供給エリア毎の地域の景観に配慮した古来の材料についても検討提案を行う。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 供給エリア毎の地域の景観に配慮した意匠についても検討提案を行う。
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 計画時にデザイン・サーベを実施し、計画の策定を行う。
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地場施工者からなるグループであることを活かし、地域の実情に沿った提案活動を行う。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 計画時にデザイン・サーベを実施し、計画の策定を行う。
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 素足での生活を意識した、次世代の和の住まいを検討する。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	本会における国内産製品の活用により、地域の当該産業の再生を促す。特に製材品に関しては、先進地の材料活用により、一定の成果が得られ、木材に関する地場材活用については、近隣工場との折衝など取組みを継続していく。
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	東北産原木の活用、また福島県所在の製材工場より供給される構造製材を活用する。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	九州産材料を積極的に活用するとともに、多方面での支援を模索する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 国産材で環境にやさしい快適な2x4の家	(地域型住宅供給対象地域) 中部地方、近畿地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適2x4家造りの会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0706-0505	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当会において取り組む、高度省エネ型住宅について以下に概要を記載致します。

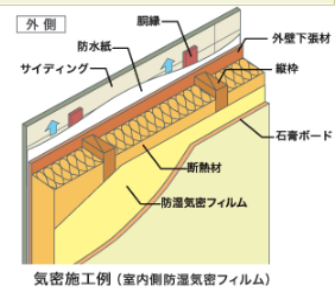
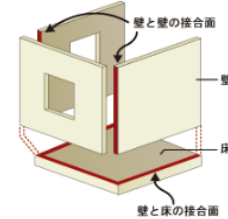
各住宅仕様共通事項

2x4工法が持つ温熱環境優位性を発揮



■ 気密施工に向けたツーバイフォー工法

ツーバイフォー工法の特徴である床板・壁を組み立てる方式のため、気密性を確保しやすい工法となっています。



また、外壁室内側のせっこうボードの下側に全面に住宅用プラスチック系防湿フィルムなどを貼ることで、相当隙間面積(C値)を少なくでき、漏気による壁内結露などを防ぐことが出来ます。

■ 断熱材の性能を最大限に引き出せる構造体

ツーバイフォー住宅の外壁は、枠組材に構造用面材を貼った大壁構造のために、枠組材の間に空気層をつくれます。また、断熱材はその空気層に充填するため施工も容易です。構造体自体を断熱化し、易く、気密施工も容易なために建物自体がもともと優れた断熱性・気密性を兼ね備えています。

構成材料

- | | | | |
|---------------|---------|--------------|-------------|
| 1) 認定低炭素住宅 | 樹脂サッシ推奨 | 住宅プラン毎に壁厚を選定 | 2x4、2x5、2x6 |
| 2) 性能向上計画認定住宅 | 樹脂サッシ推奨 | 住宅プラン毎に壁厚を選定 | 2x4、2x5、2x6 |
| 3) 優良建築物 | 樹脂サッシ推奨 | 建築プラン毎に壁厚を選定 | 2x4、2x5、2x6 |
| 4) ゼロ・エネルギー住宅 | 樹脂サッシ推奨 | 住宅プラン毎に壁厚を選定 | 2x4、2x5、2x6 |

性能目標値

- | | | |
|---------------|---|-------------------|
| 1) 認定低炭素住宅 | 「設計一次エネルギー消費量」/「基準一次エネルギー消費量(家電・OA等除く)」 | 0.85 |
| 2) 性能向上計画認定住宅 | 「設計一次エネルギー消費量」/「基準一次エネルギー消費量(家電・OA等除く)」 | 0.85 |
| 3) 優良建築物 | 「設計一次エネルギー消費量」/「基準一次エネルギー消費量(家電・OA等除く)」 | 0.85 認定低炭素建築物認定取得 |
| 4) ゼロ・エネルギー住宅 | UA値 0.51 R 105% R0 24% | |

グループ取組み

- ・各社取組み状況の自己評価を行うために、外皮計算、一次エネルギー算定等講習会(個別対応含む)を実施
- ・高度省エネ型住宅、地域材活用の意義についてグループ内での講習会を開催

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。